

まちづくり懇談会内容【公開用】

日 時：令和 5 年 7 月 10 日(月) 18：30～20：19

場 所：総合福祉センター「しゃるる」

出席者：37 人

1. 開会

2. 町長挨拶

※配布資料確認および日程説明

3. 懇談

(1) 令和 5 年度の推進事業について（資料①②参照） 町長説明

(2) 自由懇談

4. その他

- ・町内会・自治会からの質問・意見に対する回答
- ・ゴミ分別内容の変更（資料③参照）
- ・ゼロカーボンシティ宣言（資料④参照）

5. 閉会

《懇談内容》

【自由懇談】

町民：マイナンバーカードの関連についてお聞きしたいと思います。マイナンバーカードと保険証を紐づけたマイナ保険証についてのトラブルが報道されています。薬をもらいにいったら他人の処方箋が出てきたとかが起きています。医療機関の 6～7 割が何らかのトラブルがあったと報道されていました。栗山町内の医療機関ではこういうトラブルがなかったのかどうか。これからどのような事で進めていくのか。2013 年にマイナンバー法が可決され、マイナンバーカードは任意であるが、来年の秋には保険証と一体化にするという事で不安な声があがってきている。報道によるとマイナンバーカードの返納が相次いでいる。地方自治体が保険証との紐づけをしないでとの意見書を出しているという事も報道されている。町の方針としてはどのような対応を考えているか教えて欲しい。

町長：マイナンバーカードの関係については全国的にトラブルが相次いでいる事は認識をしている。国では総点検を行っていく事で聞いている。マイナンバーカードはこれからのデジタル社会において必要なものと考えています。コロナの支援金など早期に支給され

るようになる事とかメリットがあるのでしっかりと普及促進をしていく、町民に不利益にならないよう進めていく。

町民：くりふとの事です、栗山町には道の駅が無いから道の駅的な農産物を置けるようなエリアを造って見たらどうかと思いました。

ブランド推進課長：くりふとについては関係人口創出する事であり、くりふとキッチンですとかファブラボですとか多目的ホールで展示やイベントを行っています。道の駅についての現状での構想はないですが、将来的に農産物を売るとか考える機会があると思っています。現状としてはくりふとを拠点として行っていきたいと考えています。

町民：くりふとの関係で、総合計画の段階からの関係人口とかいう言葉はすごくきれいで私の中では夢が広がったんですけど、具体的なイメージができなくて、くりふとが出来て中に入ったらただの倉庫というイメージしかなかった。

町長：色々な感じ方をされるかと思います。今はD I Y工房が入ってワークショップを行ったり、まちなかレストランが入って日替わりのシェフがランチを提供したり、コミュニティFM局は来年の4月の目標となります。まだこれが完成形だと思っていませんし、農産物の販売だとかの可能性もあるでしょうから、色々な意見を取り入れながら育てていくような施設にしていきたいと思っています。

町民：国道 234 号線の拡幅ですが何年か前に話がありましたがどのようになったか教えて欲しい。

町長：国道 234 号線の拡幅については、過去から交通安全対策も含めて国に要請をしていました。国のほうでも交通量の多い所が重点的に整備が進められて、234 号線の拡幅は難しい状況ではあるが、2 年前に期成会が立ち上がり国に要望をしている。いきなり 4 車線化は難しいので、栗山に 9 つの交差点があり、渋滞が起きたり事故が起きたりしているので、開発局と打ち合わせしている進め方は、交差点を 1 ヶ所ずつ拡幅、改良していった最終的にそれを繋げて 4 車線化にもっていこうという打ち合わせをして進めています。

町民：栗山町には外国籍の方も在住しているが、語学教室などに通って日本の事を学んでコミュニケーションを図りたい。

経営企画課長：外国人の方の日本語教育の関係ですが、町民の方でそういう活動を行いたいという方がいまして支援を受けながら事業として行えないか検討をしている段階です。それが軌道に乗れば外国人に対する日本語教育が可能かと思いますが、今の段階では確定したものではありません。

町民：人数が少ないにしてもゆっくりできるものではないと思います。定住人口、関係人口という事で若い人を呼ぶ事で大きな施策となります。

町民：除排雪の見直しについて、うちの子がスクールバスで学校に通っているが、乗車口が冬の間雪山になっている。教育委員会にも提案しているが変わっていない、今回の見直しの中でそういう事は含まれているのか、もし、その中で可能でなければ、除雪されている側の方から乗車させてもらえないか。

町長：気象条件が変わっている、今一度、町民の皆さんにご不便をかけている部分がありますので、人口が減ったり、オペレーターの方が減ったりでいかに今の除雪を維持していくかという事を短期的や長期的な視点を今の段階から検討会議を立ち上げる事で示させていただきました。検討項目としては、除雪車の出動基準だとか仕上がりの基準だとか今年の除雪を行いながら望もうと思っています。バスの待合所の除雪対応もなかなかできていなかったのが検討項目として上がっています。

町民：人口の減少の事です、減少を抑えるために何か考えているかお答えして欲しい。

若者定住推進課長：転入者の子育て世代に対する住宅の支援を行っています。移住相談に関しては移住コーディネーターを置きまして、相談対応ができるようにしています。

町民：栗山公園第三駐車場ですが、車のエンジンをかけて駐車をしている。公園管理の担当部署の方は現場を見て確認して欲しい。

町長：机上の事だけではなく現場に足を運ばなければならないというのは同じ考えでありますので現場を確認いたします。

町民：ゴミの分別に関してですが、生ゴミの堆肥化で以前コンポストの普及に力を入れていたと思うが、ゴミの減量化、資源の有効活用で生ゴミのコンポストの活用を進めていただければと思います。

環境政策課長：生ゴミ堆肥化の容器設置補助を行っていました。コンポストの補助については件数が減ってきた事により廃止の判断をしております。生ゴミは燃やせるゴミとなるためゴミの減量についても大事な話しになるため、コンポストの補助も検討していかなければならないと思います。

町民：ゴミ処理手数料の事について、100 kgあたり 800 円から計測 10 kg単位で 10 kgあたりで 80 円、計測は現在も 10 kg単位です。精算の時に 100 kgに上がります。100 kgあたりで精算するけど計測は 10 kgで計算します。これを変える事ができないかと言っているけどなかなか変わらない。

環境政策課長：以前も 10 kg単位で計算できないかとお話を聞いています。現場の対応で確認したところ 10 kg単位で変更にし、問題無くできている。